

Harmoney.jp リサーチ

消費税増税の影響はいかに？

2014年の夏休み、平均予算が1万円アップ（昨年比）

「マネーゲームではない資産運用としてのFX(外国為替証拠金取引)」を提案する株式会社マネースクウェア・ジャパン(M2J) (URL: <http://www.m2j.co.jp/>、本社: 東京都港区、代表取締役社長: 相葉 斉)は、消費税8%に増税後、初の夏休みを迎えるにあたり、全国20歳～59歳の社会人300名を対象に「どんな夏休みを過ごす予定なのか」を調査し、マネー専用情報サイト「Harmoney.jp」※で公開しました。

※ “Harmoney” とは…

人とお金が上手に付き合えば、きっとその人の人生に新しい可能性が生まれる、という考え方を、「人とお金 (money) のハーモニー (Harmony)」を表す造語である “Harmoney” という言葉に込めました。

<調査概要>

- 調査タイトル : 今年の夏休みはどのように過ごしますか？
- 調査期間 : 2014年6月26日～7月1日
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査地域 : 全国20歳～59歳の男女
- 有効回答数 : 300サンプル
- 公開URL : <http://www.harmoney.jp/column/news/107>

【調査トピックス】

① 消費税アップが最も影響している費用は「交通費」(42.7%)

② 「半年ぐらい前」から夏休みの計画を立てた人は、前年比 1.6 倍

③ 夏休みの平均予算は、昨年よりも 1 万円アップの「4.9 万円」

④ 今年の夏休みの過ごし方第 1 位は、前年と同様「帰省」(32.7%)

⑤ でも、理想の夏休みの過ごし方第 1 位は、「海外」(32.7%)

【調査結果】

2014年の夏休みの過ごし方は、平均日数においても、その内容においても、前年と比べて大きな変化はありませんでした。しかし、消費税の増税は、夏休みの計画を立てる時期や、使える予算などに少なからず影響しているようです。

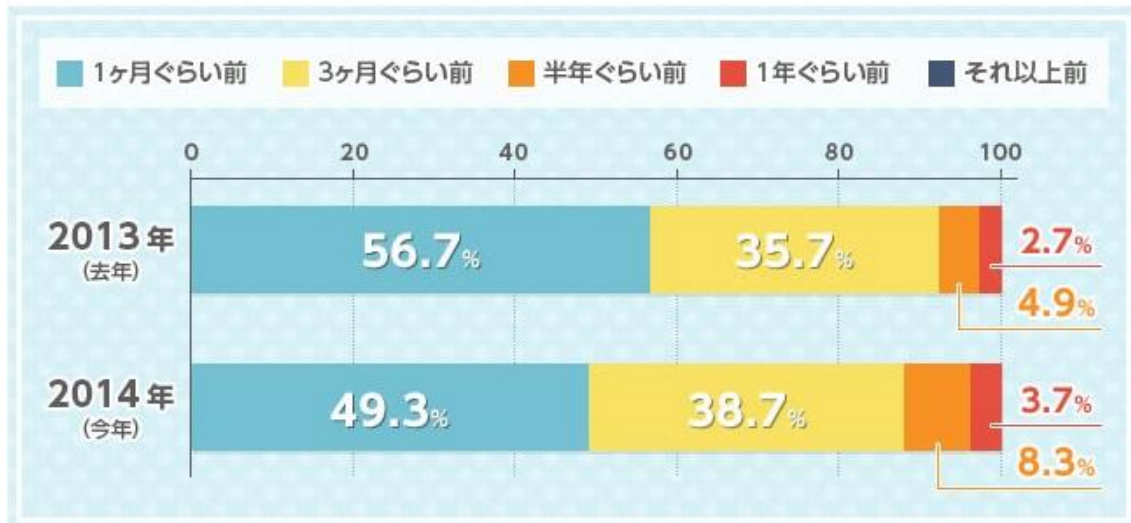
■夏休みを過ごすにあたって、消費税アップが最も影響している費用は？



最も大きく影響したのは「交通費」で、全体の半数近い42.7%となりました。マイカー派の場合には、「ガソリン代が上がると遠出したくなくなる」（30代／男性）「高速の割引もなくなり、当初予定の金額より2~3万アップした」（40代／男性）などの影響が出ているようです。近場での行楽を選ぶ、予算を数万円多く見積もるなどしている人が多く見られました。

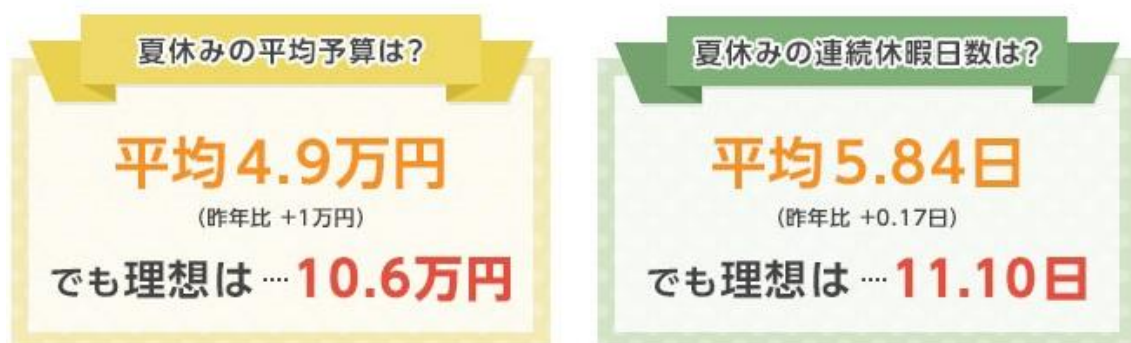
第2位は「宿泊費」で、全体の28%を占めていました。「一番単価が高い宿泊代に消費税アップが大きく影響する」（50代／男性）「4人家族の宿泊費の消費税はばかにならない」（40代／女性）などの声が。額が高いだけに影響は大きく、「ホテルのランクを下げた」（50代／女性）という人もいました。さらに第3位となった「飲食費」では、「支払う機会が多いので、その度値上がりを実感する」（40代／男性）「便乗値上げが痛い」（20代／女性）「外食を減らすことになりそう」（40代／女性）などの回答が。第4位の「土産代」については、「少しグレードを落とすことにした」（30代／男性）「値段だけでなく、買う人数も少し減らそうと思う」（20代／女性）など、シビアに考える人も少なくはありませんでした。また、「その他」と答えた人の中には、「海外旅行なので、影響を感じる部分が少ない」（30代／女性）との声もあれば、「気にしないのが一番。」（50代／男性）というポジティブな回答もありました。

■今年の夏休みの計画を立てたのは、いつ？



増税以前の昨年も、増税後の今年も、「1ヶ月ぐらい前」という回答が最多という結果になりました。しかし、その数字は、過半数超えの56.7%から、過半数割れの49.3%へと変化しており、その分だけ前倒して計画する人が増えました。ちなみに、「半年ぐらい前」との回答は、4.9%から8.3%に増加しており、こちらは昨年比1.6倍に。全体的には、昨年より今年のほうが早めに夏休みの計画を立てているという結果となりました。消費税アップの影響で、レジャーの予定や予算をより計画的に考える傾向にあると言えそうです。

■夏休みの過ごし方の「理想」と「現実」

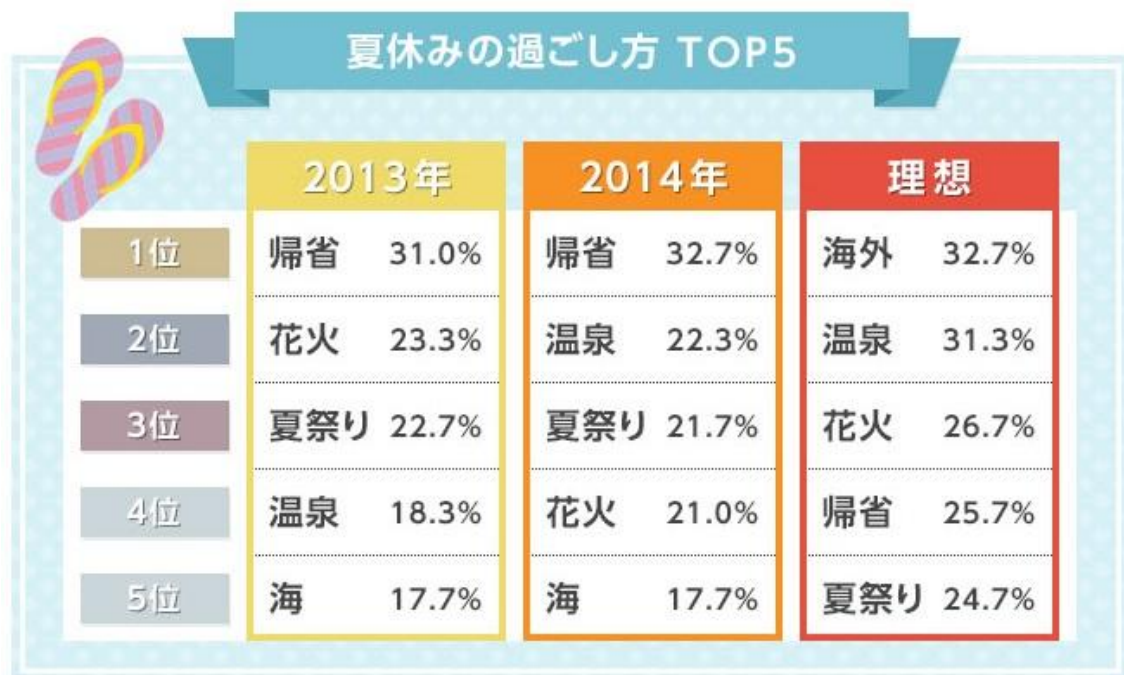


2014年の夏休み、連続休暇数の平均日数は「5.84日」となっており、前年比プラス0.17日と微増にとどまり、ほぼ変化はありませんでした。一方、理想の平均日数は「11.10日」となっており、現実とのギャップはかなり大きいようです。「旅行も帰省もしたいし、帰宅後に家で休む時間もほしい」との回答が多くあり、そのためには10日以上の連続休暇が必要だと考えているよ

うです。

一方、夏休みの平均予算については、**昨年よりも1万円アップの「4.9万円」**との結果になりました。平均日数には大きな変化はないので、消費税アップを見通した上で、予算に余裕を持たせていると言えそうです。また、理想の予算の平均については「10.6万円」との回答で、現実の約2倍の予算を望んでいることがわかりました。

■今年の夏休みの過ごし方



	2013年	2014年	理想
1位	帰省 31.0%	帰省 32.7%	海外 32.7%
2位	花火 23.3%	温泉 22.3%	温泉 31.3%
3位	夏祭り 22.7%	夏祭り 21.7%	花火 26.7%
4位	温泉 18.3%	花火 21.0%	帰省 25.7%
5位	海 17.7%	海 17.7%	夏祭り 24.7%

2014年の夏休みの過ごし方を聞いてみたところ、第1位は「帰省」で、昨年と同様でした。理想の過ごし方においては第4位のため、かなり現実とのギャップがあると言えそうです。第2位は「温泉」で、理想の過ごし方と同じランキングとなっています。第3位は「夏祭り」、第4位は「花火」となっていますが、こちらは夏の風物詩だけあって、昨年の過ごし方だけでなく、理想の過ごし方にもランクインしており、根強い人気があるようです。理想の過ごし方における第1位は「海外旅行」ですが、現実においてはトップ5にもランクインしていないという残念な結果に。「理想の過ごし方＝海外旅行」にかかる予算は、前出の「理想の平均予算＝10.6万円」にかなり近いと言えそうです。

マネースクウェアは今後も、お金・生活に役立つ調査結果やその他の情報を発信して参ります。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社マネースクウェア・ジャパン Harmony.jp 運営事務局 担当：宮城・岩谷
Tel：03-3470-5050（代表） メールアドレス：info@harmony.jp

【Harmony.jp について URL : <http://www.harmony.jp/>】

Harmony.jp は「お金」について楽しく、しっかりと学びたい人のための WEB サイトです。様々なお金事情について、皆さまが「知りたい!」と思うこと、「みんなはどう思っているのだろう?」といったことにアプローチし、FX のみに限らない様々な“お金”に関する情報を発信いたします。

〈運営会社：株式会社マネースクウェア・ジャパン（M2J）について〉

2002年の創業来、「マネーゲームではない、資産運用としてのFX」をコンセプトに、外国為替証拠金取引（FX取引）における独自の商品・サービスを提供しています。社名の「マネースクウェア」という言葉には、「お客様の資産をスクウェア＝2乗にも3乗にも増やしていただきたい」そして「投資家の方々が集まるスクウェア＝広場でありたい」という想いが込められています。2014年3月には東京証券取引所市場第一部への指定（証券コード：8728）を得るなど、「マネースクウェア（投資の広場）」の実現に向けて、どの金融機関よりも高い規律を持ち、挑戦を続けていきます。マネーゲームから、人生に可能性をもたらす「資産運用」へ。私たちは、人とお金の新しい関係をつくりたいと思っています。

URL：<http://www.m2j.co.jp/>

会社名：株式会社マネースクウェア・ジャパン（MONEY SQUARE JAPAN, INC.）

本社：東京都港区赤坂9丁目7番1号 ミッドタウン・タワー TEL(03)3470-5050

FAX(03)3470-5053

代表者：代表取締役社長 相葉 斉

設立：平成14年10月10日

資本金：1,224,005千円（平成25年9月30日現在）

事業概要：第一種金融商品取引業（主に外国為替証拠金取引（FX取引）業）

株式会社マネースクウェア・ジャパン 東京証券取引所市場第一部（証券コード：8728）
金融商品取引業 関東財務局長（金商）第296号 一般社団法人金融先物取引業協会 会員番号1507

〈発注管理機能に関する注意事項〉

発注管理機能である『トラップトレード®』『リピートイフダン®』『トラップリピートイフダン®』『ダブルリピートイフダン®』は取引の利益を保証するものではありません。

投資判断はお客様ご自身でなさっていただきますようお願いいたします。

同一通貨ペアで複数の『ダブルリピートイフダン®』を入れる、またはすでにポジションを持っている通貨ペアで新たに『ダブルリピートイフダン®』を注文すると両建て取引となることがありますのでご注意ください。

〈お取引に関する注意事項〉

●取引開始にあたっては契約締結前書面をよくお読みになり、リスク・取引等の内容をご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願いいたします。当社の外国為替証拠金取引は、元本および収益が保証されているものではありません。また、取引総代金に比較して少額の資金でお取引を行うため、多額の利益となることもありますが、通貨価格の変動や金利動向の変化により預託した資金以上の損失が生じる可能性があります。また、外貨事情の急変、外国為替市場の閉鎖等、不可抗力と認められる事由により外国為替取引が不能となる可能性があります。

●取引手数料は価格上乗せ方式で、新規および決済取引のそれぞれに必要となります。手数料額は1,000通貨単位当たり10～100円（対ドル通貨は0.1～1ドル）で、通貨ペア及び諸条件により異なります。

●当社が提示するレートは、通常2～8ポイント買値と売値に差があります。

●取引に必要な証拠金額は、個人のお客様の場合取引総代金の4%、法人のお客様の場合取引総代金の2%となります。